



## 対話重視の安全パトロール 13のポイント

編者：中央労働災害防止協会 発行：中央労働災害防止協会 定価：(1,100円+税)

著者の朱宮徹さんは、熱血漢である。大阪弁で、早口でまくしたてる朱宮さんの講演を聞いたことのある人は、2度目を聞きたくなる。この魅力はどこにあるのか。本書を読んで解けた。安全への熱い思いと緻密な実践知に裏打ちされた分厚い経験知が源泉だ。

対話と観察の2つが安全の底流であることを教えてくれる。対話は「問いかけ」からはじまる(ポイント6)。①何をしているのですか?、この作業は何ですか?と。ただ、これで終わらない。二の矢が用意されている。「この作業は、いつ頃からしているのですか?」「やりにくくないですか?」と一見、変哲のない対話を繰り返

すうち、作業のリスクが浮かび上がると看破している。

ポイント10「不安全行動に結びつく状態を見逃さない」と、ポイント11「不安全行動の痕跡を見逃さない」の項では、観察の極意を読者に惜しげもなく教えてくれる。「安全柵や危険な場所に残された足跡、上がってはいけないところにある、はしごや脚立、スイッチがテープや物で固定してある」。ちょっとドッキリ、でも納得。

安全パトロールの前夜、本書でイメージトレーニングをしてから現場へ赴けば、現場の風景や作業者の顔つきがいつもとちがって見えるはず。ご安全に。

酒井一博

(公益財団法人 大原記念労働科学研究所 所長)



## 産業医・労働安全衛生担当者のための ストレスチェック制度対策まるわかり

著者：武神健之、新井孝典、宮崎貴幸、中山寛之、白井ひろ子 発行：中外医学社 定価：(3,600円+税)

本書の著者らが立ち上げた(一社)日本ストレスチェック協会は、一人でも多くの労働者に「不安とストレスで悩まない、落ち込まない技術」を習得してもらうべく、そのファシリテーターの育成に取り組んでいる。そのような著者たちであるからこそ、「手をあげない高ストレス者をどうするのか」というストレスチェック(以下、SC)導入後の課題を見据え、医師による面接指導を希望した場合にSCの結果を会社に開示するタイミングにタメを作り、心理職による補助的相談や産業医の健康相談を活用することによる、従業員が参加しやすいSCの運用を提案する。

類書の中でも本書の刊行はひととき早かったが、それにもかかわらず、従来から職場のメンタルヘルス対策や従業員の面接指導に真剣に従事してきた実践者による、国がSC制度によって実現しなかったことの本質的な考察から現場目線の提言まで、盛り沢山の内容が平易な表現で提供されている。何度読み直しても新たな示唆が得られ、今日でもその価値は些かも損なわれていない。

本書は、SCの実施に悩むすべての人事労務・健康管理の担当者にお勧めするのはもちろん、SCへの対応に困惑されているすべての産業医に座右の書として戴きたい。

小島健一

(牛島総合法律事務所 弁護士)